

# 2025年度 自己点検評価 織田調理師専門学校

作成日2026年4月1日

学校の理念と教育目標

【理念】 すぐれた人格と豊かな情操を有した人材の育成。

【目標】 国民の食生活の向上に奉仕する調理師としての十分な技能を習得させるとともに、  
広い視野に立った学識を教授する。

3段階評価 3…基準を上回り、特筆すべき取組等を行っている 2…基準をおおむね満たす 1…基準を満たしておらず改善が必要

大項目	小項目	評価の基準	自己点検 評価結果
項目1 教育理念・目的・目標	1 教育理念、目的及び 目標の設定等	教育理念等を踏まえ、当該専門学校としての目的及び目標を明確に設定し、養成する人材像を明確にしていること。	3
		各学科の教育目標・育成人材像は、業界のニーズに向けて方向づけられていること。	3
		教育理念やポリシーが学内外に広く公表されていること。	3

【評価結果の自己分析】

・教育理念等を踏まえ、当該専門学校としての目的、目標等をホームページやパンフレット及び学生のしおりを通じて明確に設定されており周知されている。  
・各学科の教育目標及び育成人材像は 現場経験豊富な教員と業界で活躍する現役の講師による視点を取り入れ、業界のニーズに向けて方向づけられている。  
・教育理念やポリシーは 3つのポリシーの再確認を行い WEBサイトで学校内外に広く公表されている。

【今後の改善方策】

\*評価が1,2だった点検項目について記入

--

大項目	小項目	評価の基準	自己点検 評価結果
項目2 教育課程、教育の 実施、学修成果	1 教育課程の編成と授業科目	学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な教育課程編成・実施方針を作成した上で、教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した授業科目を配置していること。	3
	2 教育の実施	授業科目内容に応じ、講義、演習、実験、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられるとともに、成績評価基準に基づき成績評価を行っていること。	3
	3 単位・卒業認定	学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針（資格・免許等を含む修得させる職業能力を含む）を学科・コースごとに定め、当該方針に基づき卒業の認定をしていること。	3
	4 学修成果目標の達成状況	卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに職業能力を含む資質能力の修得（資格・免許等の取得や知識・技術・技能の修得含む。）についての目標を定め、その目標が達成できていること。	3
		学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できていること。	3

【評価結果の自己分析】

- ・学校の目的、目標及び養成する人材像を実現するために必要な教育課程編成は 教育理念を基本としたカリキュラム編成がなされている。
- ・成績評価・単位認定の基準は学則に記載されており、明確になっている。年2回の成績表を渡し学生に情報共有をしている。
- ・職員による会議を何度も行い、学校の目的・目標人材像を実現させるための方針に基づき、しっかりとした卒業の認定がなされている。
- ・学生の資質能力修得のためのカリキュラムやシラバスにそってポートフォリオなどの作成を促している。
- ・現場経験豊富な職員や業界で活躍する現役の講師などのアドバイス及び指導により、学生が望む進路の実現を定めた目標が達成できている。

【今後の改善方策】

\*評価が1,2だった点検項目について記入

--

大項目	小項目	評価の基準	自己点検 評価結果
<b>項目3</b> 学生の受入れ、 学生支援	1 学生募集及び入学 者の選抜、収容 定員 の管理	入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入 学者の選考を公正に行い、可否を決定していること。	<b>3</b>
		学生の受入れは、入学定員に基づき適正に行っていること。 注)修学支援新制度機関要件の確認	<b>3</b>
	2 自主的な学習の促進 に対する支援	学生の学力や学習状況を把握し、補習授業を行うなど学習支援に取り組んでいるこ と。 学生の円滑な学習に向け、シラバスの活用による学習成果の向上や自主的な学習 に関する適切な支援を行っていること。	<b>3</b>
		カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備 を行い、適切に運営していること。	<b>2</b>
	3 学生生活に関する支 援	留年者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対し適切な対 応を行っていること。	<b>3</b>
		学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を 整備し、適切に運用していること。	<b>3</b>
		学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	<b>3</b>
		学生のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用し ていること。	<b>3</b>

裏面に続く

#### 【評価結果の自己分析】

- ・アドミッションポリシーを基準に面接を行い公正な選考を行っている。
- ・少人数制の授業スタイルのため定員オーバーすることなく入学定員に基づき適正に行われている。
- ・放課後に実習室を開放し担当職員による実技指導等を行い資質能力の修得目標を達成出来ている。
- ・学習の継続に困難な問題を抱える学生に対して、打開策を提案したり最後の最後まで親身になって話を聞き適切な対応を行っている。
- ・学校保健安全法に基づき、年1回の健康診断を行っている。校舎内には保健室も完備している。
- ・経済的な側面に対する支援体制を整備し、学費の減免や分割納付等も含め適切に周知、運用している。
- ・キャリアマップを取り入れ就職支援体制を整備し、適切な周知運用を行っている。

#### 【今後の改善方策】

\*評価が1,2だった点検項目について記入

小項目2 : 担任や教職員による個別相談を行っていて、提携機関の冊子を配布したり関連情報を掲示し環境整備を行い適切な対応はできているが、学内にはカウンセラーの配置や相談室の設置などがいないため、今後はカウンセラーの配置や相談室の設置など学生の相談に対応するための環境整備を強化できるよう検討して行きたい。

大項目	小項目	評価の基準	自己点検 評価結果
<b>項目4</b> 教育実施組織 ・教員	1 教員の配置、募集、採用	①教育課程を実施するのに必要な、資格・要件を備えた教員を確保するために基準等(教員の採用基準等)を整備し、適正に運用していること。	3
		②教員の常勤・非常勤、年齢構成等、また教員一人当たりの授業時数等を把握していること。また、教員の専門性、教授力を把握、評価していること。	2
	2 教員の組織編制等	①学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規程等で定めていること。	3
		②教員間で連携、協力体制を構築していること。	3
	3 教員の資質の向上	学校の教育活動の改善、工夫を行うFD(Faculty Development)などの取組や、教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っていること。	2

【評価結果の自己分析】

- ・資格、要件を備えた教員を確保するために履歴書、職務経歴書を精査し、面接での徹底した見極めや必要とあれば実技試験等を行い適正に運用している。
- ・納得いくまでの会議を行い校務分掌を作成し全教員に共有している。
- ・校務分掌を基に「報告・連絡・相談」を徹底しており教員間での連携、協力体制を構築している。

【今後の改善方策】

\*評価が1,2だった点検項目について記入

小項目1-② : 教員一人当たりの授業時数はコンプライアンスに基づき規定内で配置しているが、かねてからの人員不足により偏在を是正できずにいる。また、教員の教授力の把握、評価に関しては職階別の研修等を通じて客観的な評価資料を作成するなど整備を進める必要がある。

小項目3-① : 教員の研究活動の取組については、引き続き研究活動に充てる時間や費用について支援体制を構築していく。

大項目	小項目	評価の基準	自己点検 評価結果
項目5 教育環境	1 教育環境の整備	①教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等を備えていること。	3
		②インターネット接続環境を整え、学生が必要に応じて情報検索等が出来ること。	2
	2 安全対策、防災組織	学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っていること。	3
		火災の発生や防災に関する組織体制を整備し、適切に運営していること。	3
	3 施設・設備等の点検、改善等	施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等を適切に行っていること。	3
		施設の改築・改修、設備の更新等の計画を定め、適切に実施していること。	3

【評価結果の自己分析】

- ・現場で使用される調理器具を設置し、大型調理器具等の使用方法も学べる環境を整備している。
- ・校舎の耐震工事等をして安全対策は適切に行っている。
- ・箇所に消火器を配置しており、水、食糧、簡易防寒具等の災害備蓄品等も確保している。
- ・施設、設備等の日常点検やメンテナンスを行い、消防設備の定期点検も行っている。
- ・異常気象による猛暑で集団調理実習室の室内温度が異常に高く、業者にモニタリングをしてもらい空調設備の取り換え工事を行った。

【今後の改善方策】

\*評価が1,2だった点検項目について記入

小項目1-②

インターネットを使つての情報検索等は出来るが、Wi-Fiが使える場所が少ないため今後はWi-Fiの設置個所を増やし接続環境を整えたい。

大項目	小項目	評価の基準	自己点検 評価結果
<b>項目6</b> 教育活動の基盤と 改善・向上の取組	1 中期事業計画と財務 基盤	学校が策定している事業計画に、教育目的、教育目標の実現に向けた具体的な内容が位置付けられていること。	<b>3</b>
		学校の教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立していること。	<b>3</b>
	2 学校運営	学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われていること。	<b>2</b>
	3 学校評価の実施と改 善活動	学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等外部からの意見を反映するなど、関連企業等団体、地域社会等からの意見を当該専修学校の運営やその改善・向上において活用していること。	<b>3</b>
		学校評価を実施し結果及び改善状況についての情報を公表していること。	<b>3</b>
		学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っていること。	<b>3</b>
	4 社会からの理解と情 報の公表	当該専修学校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表していること。	<b>3</b>

【評価結果の自己分析】

- ・教育目的、教育目標の実現に向けた具体的な内容が位置付けられている事業計画書を作成し教職員に共有している。
- ・収支状況を教職員で共有し経費削減を徹底している。その成果は毎年出ている。
- ・学校運営の組織体制を整備し適切な運営が行われている。
- ・学校評価を実施し結果及び改善状況について情報公開している。
- ・学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っている。
- ・当該専修学校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表している。

【今後の改善方策】

\*評価が1,2だった点検項目について記入

小項目2

退職者の穴埋めを行うため人員募集を行い、新入職員への新たな指導等、新たな組織体制の整備等を行う必要があるため、職員のコミュニケーション能力を強化し適切な運営が行われるよう構築していく。